ボーリング柱状図

調　査　名	千葉市消防団第１１分団３部器具置場改築地質調査業務委託
事業・工事名	

ボーリングNo.	5	3	4	0	3	2	0	0	0	0	1

シートNo.

ボーリング名	B－1	調査位置	千葉市若葉区中野町２３６６－１の一部			北緯	35° 35’ 00.2000″
発注機関	千葉市都市局建築部営繕課			調査期間	平成18年 6月14日～平成18年 6月14日	東経	140° 15’ 30.0000″
調査業者名		主任技師		現場代理		コア鑑定		ボーリング責任者	
孔口標高	KBM -0.23m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	0°北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	0° 水平 0° 鉛直 90°
総掘進長	10.39m	使用機種	試錐機	D-1-B	ハンマー落下用具	トンビ	
			エンジン	NS-75	ポンプ	カノーV-6	

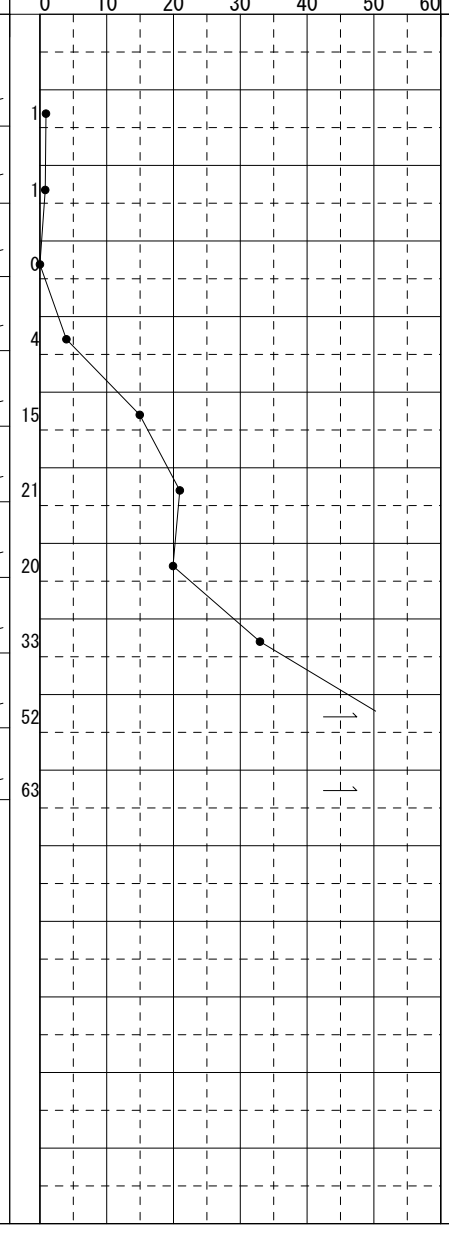
標尺 m	標高 m	層厚 m	深度 m	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
1	-1.93	1.70	1.70		盛土	褐灰			最上部砕石0.20m、以深コンクリート片・木片混入 有機質シルト主体、含水分中～多
2	-2.83	0.90	2.60		シルト	褐灰	非常に軟らかい		含水分中～多、全体にやや均質である、有機質シルト主体
3 4	-4.33	1.50	4.10		有機質粘土	褐			含水分多く粘着力大位、全体にやや不均質である、軟弱である
5	-5.73	1.40	5.50		砂混りシルト	黄褐		硬い	含水分中位、色調不統一、全般にやや不均質である 硬質シルトをシーム状に挟む
6	-6.93	1.20	6.70		シルト混り細砂	黄褐	中ぐらい		色調不統一、含水分中位、互層状にシルト分含む 粒子均一、比較的密である
7 8 9 10	-10.62	3.69	10.39		細砂	黄褐	中ぐらい～非常に密な		粒子均一、含水分中～多位 全体に極密である
11 12 13 14 15 16									

粒度試験による土質区分

孔内水位／測定月日：6/14 1.80

標準貫入試験

深度 m	10cm毎の打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量	N値
1.15	1 / 33			1 / 33	1
1.48					
2.15	1 / 35			1 / 35	1
2.50					
3.15	0 / 32			0 / 32	0
3.47					
4.15	1	1	2	4 / 30	4
4.45					
5.15	4	5	6	15 / 30	15
5.45					
6.15	6	7	8	21 / 30	21
6.45					
7.15	6	6	8	20 / 30	20
7.45					
8.15	10	10	13	33 / 30	33
8.45					
9.15	14	16	20 / 9	50 / 29	52
9.44					
10.15	16	20	14 / 4	50 / 24	63
10.39					



原位置試験 深度 m	試験名及び結果

試料採取 深度 m	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
2.00	1	Ⓣ		
2.80				